

想定した品目

かぼちゃ(抑制)

1. 技術体系の特徴

品目	家族 労働力	品目・栽培型及び規模			経営・技術の特徴	
かぼちゃ(抑制)	人 2	かぼちゃ抑制			a 50	1. 直まき栽培 2. 乾燥防止のため敷き わら等を行う 3. 選別調整は委託
		経営耕地面積	水田	150	畑	
経営目標	1 農業総収入		2,583 千円	4 1日当たり農業所得	10,015 円	
	2 農業経営費		1,637 千円	5 1人当たり年間労働時間	378 時間	
	3 農業所得		945 千円			

2. 資本装備と減価償却費

種類・規模		数量	型式・構造・能力	所 割	有 合	取得価格 千円	耐用 年数 年	年間 償却額 千円
建物・ 施設	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60㎡		1	3,240	24	135
	農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20㎡		1	1,080	24	45
	計					4,320		180
農機具	トラクター	1	20PS		1	1,817	7	130
	動力噴霧機	1	可搬式(5MPa)		1	213	7	15
	管理機	1	6.2PS		1	200	7	14
	トラック	1	軽トラック		1	917	4	115
計						3,146		274

3. 技術体系(かぼちゃ抑制)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(本ぼ) 耕うん 整地	耕起整地	7月中旬	トラクター	1	2	2	堆肥 2t 石灰質資材 40kg リン酸質資材 40kg	深耕及び有機質の施用
施肥	基肥施用	7月下旬	トラクター 管理機	2	2	4	N 15kg P ₂ O ₅ 20kg K ₂ O 15kg	
	追肥施用	9月		1	2	2		
は種準備	うね立て マルチ	7月下旬	トラクター 管理機	2	1	2	シルバーマルチ 幅1.8m、長さ200m	栽植密度 うね幅4.0m×株間30cm 10a当たり 830株 マルチは土壤水分がある時に張る。
は種		8月中旬		1	4	4	種子	は種後マルチの穴が詰まるように十分覆土する。
整枝誘引	整枝誘引	9月上旬		1	29	29		親づる1本仕立て着果節位を15~18節とし子づるは着果節位まで摘除する。
敷きわら		9月上旬		2	4	8	麦わら 1t	厚めに敷く
着果玉直し	交配 台座敷き 摘果、玉直し	9月下旬 ~10月		1	14	14	台座	早朝に交配を終わる。 着果25日頃マットを敷く。
病虫害防除	薬剤散布 耕種的防除	8月下旬 ~10月	動力噴霧機	2	6	12		県病虫害防除基準による
収穫出荷		11月上旬 ~11月中旬	トラック	2	27	54		着果後、55日以上 of 完熟果で収穫する
後かたづけ	ほ場環境浄化	11月中旬 ~11月下旬	トラック トラクター	2	10	20		
計						151		

4. 品目の作付体系(○は種, □収穫)

品目(作型)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
かぼちゃ (抑制)								○			□	

